

令和4年度 昭和幼稚園 「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

1. 園の教育目標

はだしでジャンプ みんなのびのび アリンコ隊
～あーいいな愛の幼稚園～

2. 本年度の重点目標

<3つの重点> ①心も身体も元気いっぱい ②たのしい音楽遊び ③やさしい心と仲間づくり

<具現するために大切にしたいこと>

- ・裸足で元気に遊ぶ ・いっぱい歌う活動 ・笑顔のあいさつを広げる ・主体性が育つ活動を大切にする
- ・優しく行動できるようにする ・ルールやマナーを守り仲良く遊ぶこと ・基本的な生活習慣を育てる

3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない

D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	A
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	A
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	A
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	B
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	B
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	A

1. 学校関係者評価委員（モニター）からの評価

- (1) 先生方の対応と笑顔で雰囲気が良い。明るいあいさつや温かく見守っていただき感謝。
- (3) 子ども主体でのびのび過ごせている。同学年だけでなく、縦のお友だちもできている。
- (4) 音楽を体全体で楽しめるようになっている。はだしで元気に過ごせているのが良い。
- (5) コロナ禍の中での対策を考えた行事の工夫や活動がなされている。管理が徹底し安心である。
- (6) 園バスで置き去りになる事件が多いので、くれぐれも園児降園確認の徹底を大事にしてほしい。

2. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- (1) 全般に園への信頼があり評価は高かった。更に気軽に相談できる温かい雰囲気を大切にしたい。その為に、子どもや保護者・職員との関係づくりに努める。また、保育者の指導力を高めるたい。1人1授業公開や園内研修の充実を図ると共に、子どもの優しさや自己肯定感を高める。
- (2) 家庭との連携を大切に、子どもの成長をラーニングストーリー、学級だより、園長だより等で発信。
- (3) 歌声があふれる園にしたい。その為に、日々の音楽活動の充実を図ると共に、「園長先生と歌って遊ぼう」の企画を年3回実施予定。5月7月12月
- (4) 「人が育つ園」として子どもの心根を大事にする。素晴らしさをいっぱい共有する。
- (5) 少子化の中であるが、更に園公開など魅力ある企画を工夫し、園児募集の充実を図る。